

乳がん体験者コーディネーター

Know (≠No) More Cancer

**BEC: Breast cancer Experienced Coordinator**

養成講座 第12期生募集要綱・実施要綱

## 2016年7月7日(木)開講

申込期間：2016年5月9日(月)～2016年10月31日(月)

受講期間：2016年7月7日(木)～2017年2月28日(火)

受講申し込みはNPO法人キャンサーネットジャパン、「<http://www.cancernet.jp/training/bec>」から。

### この講座を運営する団体

#### ■NPO法人キャンサーネットジャパンとは

キャンサーネットジャパンは、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション(使命)とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をヴィジョンとし活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者(患者・家族)の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。キャンサーネットジャパンは今後も、がん患者や家族、また医療にかかわる人々へ情報を発信し続けてまいります。

NPO法人キャンサーネットジャパン  
〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル2F  
TEL：03-5840-6072 FAX：03-5840-6073  
メール [cinbec@cancernet.jp](mailto:cinbec@cancernet.jp)

### 第12期 乳がん体験者コーディネーター養成講座 -目次-

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 講座概要・・・2        | 9. 受講の手続き・・・5             |
| 2. 受講期間・・・2        | 10. 受講の方法・・・6             |
| 3. FAQ～よくある質問～・・・2 | 11. 前期講座の内容・・・6           |
| 4. 開講の背景・・・3       | 12. 前期修了試験・・・6            |
| 5. 開講の目的・・・4       | 13. 後期講座の内容・・・7           |
| 6. 受講資格・・・4        | 14. 認定までの流れ・・・7           |
| 7. 受講料・・・5         | 15. 認定後の各種手続きと認定継続要件等・・・8 |
| 8. 申込期間・・・5        | 16. 認定後の活動・・・8            |

## 1. 講座の概要

インターネット環境があれば「いつでも」「どこでも」「最新のがん医療情報」を学べるeラーニング・システムを用いた講義です。「日本を代表する講師陣」による、全20科目(各60分)の講義視聴とレポート提出、修了試験から構成される【前期】と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。前期・後期すべて修了した方が、キャンサーネットジャパンが認める「乳がん体験者コーディネーター」と認定されます。 ※前期の講座を受講し、修了試験に合格された方は「乳がん体験者コーディネーター養成講座修了生」となり、後期の受講資格があります。(前期修了のみでは、「認定」とはなりませんのでご注意ください)。

## 2. 受講期間

前期受講期間：2016年7月7日(木)～2016年11月30日(水)

後期受講期間：2017年1月～2月を予定。

前期・後期ともに、カリキュラムにある各講義のweb公開日以降、受講期間内は何回でも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

## 3. FAQ ～よくある質問～

### Q1. 「乳がん体験者コーディネーター養成講座」とはどんな講座ですか？

2007年6月に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等(以下「関係者等」という。)が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すこととする。」と言及されています。異なる立場の方々共同し、この目的を達成するためには、がんに対する一般的知識、その他がん医療情報に関する知識、及び最新の情報にアクセスするスキルは最低限の必要条件になります。この講座は、これら異なる立場の方々の中で、乳がん体験者の立場、乳がん患者支援者が、がん医療に関与するための「乳がん医療情報」に特化した養成講座になっています。

### Q2. どのような方が受講されていますか？

2007年4月に第1期を開講し、以降11期まで、様々な立場の490名を超える方々に受講頂きました。

- ・乳がん体験を持ち、今後がん医療への関与を希望する方々
- ・がん患者団体等でピア(体験者)の立場として患者相談などの活動をされている方々
- ・医療機関に勤務する医療者(看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど)で乳がん体験を有する方々
- ・乳がん患者(乳がん体験者)を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関りを持ちたいと考える方々
- ・製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方々
- ・医療、社会保障、科学等を担当するジャーナリストの方々

### Q3. 認定者・修了者は、どのような形で活動されていますか？

受講生のほとんどは仕事を持ちながら、本養成講座を受講され、修了・認定後はご自身の仕事の中で、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。今後は、Q1の説明にもあるように、病院や公的機関だけでなく、民間企業等様々なところで、がん医療情報の基礎的知識を有する人材のニーズが高まると思われます。

## 4. 開講の背景

### (1) 日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は 85 万 1,537 例（2011 年）、また死亡者数は 36 万 4,872 人（2013 年）となっており、今後も増加が予測されています。

一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん種においては、死亡率の低下を達成しています。

日本におけるこのような現状は、様々な要因に起因すると考えられますが、医療者向けのがん情報、国民・患者向けのがん情報を提供・共有するシステム構築の遅れが大きな要因の一つと考えられています。

### (2) 近年のがん医療の変化

このような状況を鑑み、国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がんセンターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006 年 10 月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を図っています。また、2007 年 4 月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」も施行され、同年 6 月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定され、2012 年には更に現状に即した改訂がなされました。

以上のような背景により成立した「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、情報を理解し、患者が主体的に治療を選択できる環境の構築も必要となります。

### (3) がん患者・家族・国民が置かれた環境

2006 年 10 月に「がん対策情報センター」が開設、日々情報が追加・更新され、適切な情報を届けるための環境整備は進み、がん関連学会編集による診療ガイドラインにおいては近年、学会等の努力により一般への公開が進む領域もありますが、その普及は十分とは言えません。

また、各関係団体の整備は進んできていますが、未だ認定がん治療専門医、専門看護師、薬剤師他は少ない上、患者・国民がアクセスできる相談窓口も、国家レベル・民間レベルにおいて整備が進められてはいるものの、認知・連携が不十分である場合も多く、適切なリソースそのものの不足とともに、適切なリソースへのガイド役、それをわかりやすく伝える役割の存在が不足しています。

加えて、急速なインターネットの普及により、がん患者・家族のアクセスが急増し、医療情報・がん医療情報の入手は容易になりましたが、専門知識なく一般的な検索ワードを検索エンジンに用い調べる場合、その検索結果数は数十万から数百万という膨大なものであり、それらの情報についての重み付け、信頼性の評価はほぼ不可能に近い状況とされています。

### (4) がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3 つに大別されます。一つは、自身の治療上の決定における医療情報、各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象（副作用）など体への影響、「Physical な問題」、2 つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象（副作用）などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mental な問題」、3 つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題の他、医療制度に関する問題、すなわち「Practical な問題」です。

### (5) がん対策推進の取り組み

がん対策基本計画には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がん向き合い、がんを負けることのない社会」の実現を目指すこととする。」と旨とされています。

すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められているのです。このような背景を考慮すると、乳がんを体験し、克服した患者・家族は、様々な点において、今後発症する乳がん患者・家族にとって、有益な情報源・候補者となると思われます。実際に、米国を始め先進諸国においては、がんを克服した患者「Cancer Survivor」:

「キャンサーサバイバー」と呼び、尊敬を集める存在となり、加えて乳がん早期診断と早期治療の啓発者として活躍しています。そこで 2007 年4月、NPO 法人キャンサーネットジャパンでは、患者・家族のニーズに応えるべく、民間レベルにおいて、信頼性の高い、科学的根拠に基づいた、その時々における良質で信頼性の高い乳がん医療情報を提供し、かつ、それらの乳がん特有の医療情報等を患者の言葉にし、伝えることのできる「認定乳がん体験者コーディネーター」の人材養成講座をスタートさせました。

## 5. 開講の目的

乳がんと診断され直面する問題（主として乳がん医療情報に関する問題）を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。「認定乳がん体験者コーディネーター」は、乳がん医療情報（治療法に関する情報）に特化したものとします。本養成講座により「認定乳がん体験者コーディネーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織（NPO 法人）の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献することとします。

なお、本講座は「こころのケア」「カウンセリング」のスキルを学ぶものではありません。CNJ のピアサポートに携わる上で必要と考える知識を学ぶことができますが、ピアサポーターの養成を、直接の目的としていません。

## 6. 受講資格

- ・主たる治療（手術・放射線療法・薬物療法など）を終了した乳がん体験者
- ・乳がん患者を持つ成人家族
- ・その他 NPO 法人キャンサーネットジャパンが認める者等<sup>注)</sup>  
<sup>注)</sup>「認定乳がん体験者コーディネーター」に求められるものは、信頼性の高い乳がん情報にアクセスし、乳がん患者の立場に立ち情報を提供する能力であり、原則的に、受講者の資格・バックグラウンドは重要でないと考えており、志しあるその他の者についての門戸も開かれています。
- ・基本のパソコン操作ができ、資料のダウンロード、WORD を使用しての添付、送信ができるインターネット及び E-mail（携帯電話は不可）使用、E-mail による Word・PDF ファイル等添付送受信が可能な環境があり、代表的な検索エンジン（Yahoo・Google など）が使用でき、受講前に本養成講座の e ラーニング・システム<sup>注)</sup> が利用可能で、以下のいずれかに該当する者としてします。  
 なお、事務局からの事務連絡は原則として、すべて E-mail の一斉配信で行われます。但し、Gmail、Yahoo mail 等のフリーメールをご使用の方は、事務局からの連絡が迷惑メールフォルダ、ごみ箱等に振り分けられる事例があるためご留意下さい。

### 【必ずご確認ください！】

<sup>注)</sup> e ラーニング・システムが利用可能かどうかは、後記の URL で既にアップロードされているコンテンツが問題なく再生可能である事を必ず確認して下さい。

CNJ がん情報ビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video>

※本養成講座では、受講者に対する個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応できませんので、上記の通り、受講前に必ずコンテンツが再生可能であるかどうかの確認をして下さい。以下は受講に必要なパソコン環境の情報です。

windows IE(Internet Explorer)での視聴を推奨いたします。Windows PC および Macintosh とともに Safari、Firefox、Chrome 等のブラウザを使用する場合はマイクロソフトの Silverlight をインストールする必要があります。マイクロソフトのサイトからダウンロードするか、以下のキャンサーネットジャパンの URL

(<http://www.cancernet.jp/video/>) よりインストールして下さい。

ビデオは以下のパソコン環境でご覧下さい。

■回線速度/350kbps 以上

■OS/【Windows の場合】2003, 2008, XP, Vista, Windows7, Windows8

【Macintosh の場合】Mac OS 10.4.8 以降

■ソフトウェア/ ブラウザ:

【Windows の場合】 Internet Explorer 6.0 SP1 以降、FireFox2.0 以降、Google Chrome 1.0, Windows Media Player9 以降。

【Macintosh の場合】 Safari 2.0.4 以降、Firefox 2.0 以降 ※Macintosh の場合あるいは Windows で Internet Explorer 以外のブラウザを使用する場合は Microsoft Silverlight 1.0 以上が必要です。

■ハードウェア/CPU: Pentium4 800MHz 以上 または PowerPC G3 以上 メモリ: 512MB 以上  
(Vista の場合は 1GB 以上)

## 7. 受講料（消費税込み）

種別	割引申込期間 (2016年7月31日まで)	通常申込期間 (2016年10月31日まで)	BEC 2 回目以降 CIN 既受講者
受講料	¥80,000-	¥90,000-	¥30,000

### 【団体受講割引】

5名以上での受講申し込みの場合は、受講料の優遇制度を適応いたします。

必ずお申込み前に NPO 法人 キャンサーネットジャパンまで、メールにてお問い合わせください。

(メールアドレス: 担当: 大友・荻野 cinbec@cancernet.jp)

### 【BEC/CIN 1 期～11 期既受講生に対する受講料割引】

既に、BEC/CIN 養成講座の 1 期～11 期を受講された方々に対する受講料割引制度です。各領域における最新情報のキャッチ・アップにご利用下さい。また、本講座を受講された方は、BEC/CIN 認定継続要件（15 ポイント）を満たすものとします。但し CIN の 6・7 期は総合コース既受講生のみが対象です。

## 8. 申込期間

・2016年5月9日（月）～10月31日（月）

前項の通り、割引申込期間（2016年7月31日まで）と、通常申込期間（2016年8月1日～10月31日まで）は、受講料が異なりますので、ご注意ください。

## 9. 受講の手続き

### (1) 申し込み方法

前項 8. の申し込み期間内に、キャンサーネットジャパンのホームページよりお申し込み下さい。

ホームページ <http://www.cancernet.jp/training/bec>

### (2) 受講申し込み受付と受講料支払い

「申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ送信ください。お支払いはクレジットカード決済と銀行振込よりお選びいただけます。申込フォームへ記入されたメールアドレス宛に、手続き案内メールをお送りいたします。なお、数日経過してもメールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせ下さい。

### (3) ID、パスワードの発行

ご入金確認後、7月上旬に e ラーニング・システムを受講頂くための「受講 ID」と「パスワード」を、メールにてご連絡いたします。なおシステム上、入金確認に数日かかる場合がございますのでご了承下さい。

### (4) 受講開始

後述する受講方法に基づき、受講を開始して下さい。

## 10. 受講の方法（前期・後期共通）

### (1) 受講環境の準備

パソコンをインターネットに接続し、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://www.cancernet.jp/training/bec>

### (2) BEC12 期バナーをクリック

<http://www.cancernet.jp/training/bec> の画面上に表示される「BEC 受講生専用視聴ページ」のバナーをクリックして下さい。受講ログイン画面へ進みます。ログイン画面では、「ユーザー名」と「パスワード」が求められます。「ユーザー名」には、事前にお知らせする「受講者アカウント」を、「パスワード」には「受講者パスワード」を入力します。「ユーザー名」、「パスワード」を入力完了後、「ログインボタン」をクリックして下さい。講義視聴画面が表示されます。

### (3) 講義資料 (PDF) のダウンロード

- ①はじめに講義視聴画面の各講義の「Links」をクリックして講義資料のタイトルを表示させて下さい。
- ②講義資料のタイトルをクリックすると「ユーザー名」と「パスワード」の入力画面が表示されます。
- ③講義資料のタイトル下（または横）に記載されている講義資料ダウンロード用の「ユーザー名」と「パスワード」を入力して下さい。PDF データが表示されます。

### (4) 講義の視聴

講義視聴画面の講義名のタイトルをクリックし、視聴を開始して下さい。

※視聴および資料ダウンロード期間は、2016 年 7 月 7 日（木）～2016 年 11 月 30 日（水）です。

なお、動画のダウンロードはできませんのでご了承下さい。

## 11. 前期の講座内容

オリエンテーションを含む全 20 科目の受講（視聴）と、オリエンテーション・ラップアップを除く 18 コマのレポート提出（Word ファイルを E-mail 添付にて提出）が、前期修了試験の受験資格となり、修了試験に合格することが、前期講座修了要件となります。

※講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。

## 12. 前期修了試験

### ＜乳がん体験者コーディネーター前期修了試験概要＞

この修了試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。

■試験期間：テスト配信日時：2016 年 12 月 2 日（金）正午～12 月 4 日（日）正午  
解答提出期限：2016 年 12 月 4 日（日）正午まで

■合否判定：本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。

■修了証：試験合格者には、乳がん体験者コーディネーター前期プログラム修了証を発行致します。なお、試験不合格で、再受験を希望する場合は、次クール（13 期）以降の受験（受験料 ¥5,000）が可能です。合否発表は、2016 年 12 月 12 日（月）を予定しています。

## 13. 後期講座の内容

乳がん体験者コーディネーター養成講座（前期）修了者は、前期で習得した系統的知識、乳がん医療情報の

扱いを実践に活かすための演習を主眼とした養成講座（後期）の受講資格を得ます。後期プログラム修了者を NPO 法人がんネットワークジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとし、認定証を発行します。

後期講座は、2017年1月～3月の開催を予定しており、詳細は2016年11月頃に受講生にお知らせいたします。後期プログラムは、下記を予定しています。

### (1) web 講義

- ①がん医療を取り巻く各職種と BEC に期待される役割、Must do 5、Must not do 5
- ②患者支援と法律
- ③コミュニケーション・スキル

### (2) ケーススタディ・ロールプレイ

各1回、同日午前・午後実施。個別スケジュール調整にて、東京・大阪での開催を予定しています。5～8名程度の少人数で実施。平日・土日含む数日の候補日を設定し、調整します。

### (3) 全体発表・修了式（東京）

講座（前期・後期）受講を振り返り、全体を通じて学んだこと、反省点、要望点などに加え、今後の活動の展望について、各自5分程度の発表を行い、全員で学びをシェアリングします。2017年3月中旬を予定しています。

注：(2) の開催地については、東京・大阪以外にも、受講生が5名前後集まる事が可能な場所（開催地）が調整できる場合、地方での開催も考慮致します。第6期では、相良病院（鹿児島）様（<http://www.sagara.or.jp/index.html>）の申し出を受け、同病院での出張後期プログラム開催をいたしました。開催場所の提供を考慮頂ける方・病院・クリニック様については、CNJ 事務局 BEC 問合せ先（[cinbec@cancernet.jp](mailto:cinbec@cancernet.jp)）までお知らせ下さい。

## 14. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ

#### ■養成講座（前期）

- (1) 全20講義の視聴とレポート提出
- (2) 前期修了試験受験  
合格→養成講座前期修了（修了証を発行）  
※試験不合格の場合は、次クール（13期以降で再受験可能（別途受験料がかかります））

#### ■養成講座（後期）

- (1) 全3講義の視聴とレポート提出
- ⇒ (2) ケーススタディ・ロールプレイ（1日、対面）
- (3) 全体発表・修了式  
→認定乳がん体験者コーディネーターとして登録

※後期講座に進んでいただいた方でも、がんネットワークジャパンが BEC としてその素養に相応しくないと判断した方は、認定しない場合があります。その場合、後期講座の受講料は返金いたします。

## 15. 認定後の各種手続きと認定継続要件等

認定者のうち希望する方は、NPO 法人がんネットワークジャパン事務局内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録頂きます。登録時より3年間の管理登録料として、登録時に15,000円を申し受けま

す。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は3年間の更新制となり、下記、〈認定継続に必要なポイントの内容について〉に定める認定継続要件である15ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。

4年目以降の認定継続についても、上記と同様の条件にて3年毎の更新とします。更新時には15,000円の更新料を申し受けます。

〈認定継続に必要なポイントの内容について〉

認定を更新するための条件である更新ポイントは15ポイントです。

1. 継続学習の機会への参加

\*CNJが主催・共催・後援するイベント 2P

\*CNJが認めるがん関連学会 3P

\*科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 1P

(ご報告内容に基づき、ポイント対象から除外させていただく場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合せ下さい。)

2. 相談活動に従事 3P

3. 講演等の啓発活動 3P

4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P

5. CIN/BEC 養成講座受講 15P

なお、更新に必要なポイントとして、CNJのビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video> の視聴も1Pとなります。

## 16. 認定後の活動について

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。

更に、NPO法人キャンサーネットジャパンが企画・運営する各種セミナー・プログラム（「CNJがん情報ステーション」、「CNJがん医療セミナー」、「外部研修プログラム」など）、また、病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の職業の保証はいたしません。